

mitsubishi

三菱換気扇・エアコン一体化システム専用強制給気ユニット

〈壁取付け専用〉

形名

V-08PQRC

取付工事説明書

販売店・工事店さま用

取付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みにになり、販売店さま、または専門の工事店さまが正しく安全に取付けてください。

■この製品は換気扇・エアコン一体化システム専用の強制給気ユニットです。三菱電機製エアコンと組合わせてご使用ください。(対応形名等はエアコンのカタログをご確認ください)
●開放形ストーブをご使用の場合は本製品では風量不足ですので専用の換気扇を取付けてください。

■この製品は高所取付用（壁取付け専用）ですので、必ず床面から1800mm以上の壁面に取付けてください。尚、フィルター等のメンテナンスが必要ですのでメンテナンスができる高さ（1800～2500mm）に取付けてください。

■本体の操作には、壁スイッチ（システム部材のコントロールスイッチまたは市販品）が必要です。
●壁スイッチは入切タイプをご使用ください。（壁スイッチによる風量切換はできません）

取付工事終了後は、必ずお客さまにこの説明書をお渡しください。







安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。



●図記号の意味は、次のとおりです。


警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの




 禁止	 水ぬれ禁止	 接触禁止
 指示に従い必ず行う	 風呂・シャワー室での使用禁止	 分解禁止


警告

	●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショートや感電の原因
	●改造や分解はしない 火災・感電・けがの原因 修理は「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」にご相談ください

	●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に換気扇を取付ける場合は、換気扇とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取付ける漏電した場合、発火の原因
	●交流100Vを使用する 直流や交流200Vを使用すると感電の原因

注意

	●直接炎があたる恐れのある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けない 火災の原因 ●天井には取付けない 結露水によるショートの原因
	●浴室など湿気の多い場所には取付けない 感電および故障の原因
	●電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電の原因

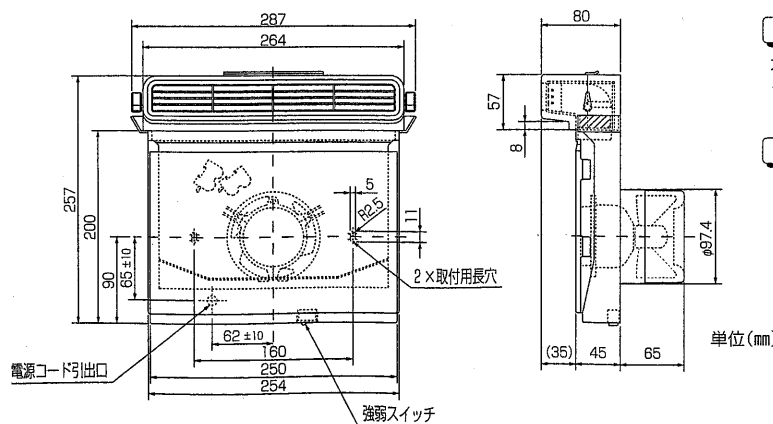
	●取付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因
	●部品の取付けは確実に 落下によるけがの原因
	●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に 落下によるけがの原因
	●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因

お願い

- 使用周囲温度（0～40℃）以外の温度になるところに取付けしないでください。
故障の原因
- 風雨が強く下側から吹き上げがある場合は、システム部材の耐外風高性能フードを取付けることをおすすめします。
- アルミフレキシブルダクトへの取付けはしないでください。
振動の原因
- 製品は「ガス機器の設置基準及び実務指針」に基づき、燃焼ガスなどの排気口より離れた位置に取付けてください。
室内の酸欠の原因

- スプレーをかけないでください。
給気ガイドが破損する原因
- プラグ付電源コードは使用できません。
- 下記環境下で使用しますと、本体から結露水が滴下することがあります。
屋外温度：-5℃以下で室内温度15～25℃・室内湿度45%以上
- 建築基準法に基づき必要換気回数が確保できる風量（ノッチ）に切替えてください。

外形寸法図



付属部品

- 木ネジ……………2本
- クッション……………1本

適用パイプ

- 塩化ビニル管…VP、VU（4番管・呼び径φ100）
- 鋼板管（内径φ100）

取付方法

取付前の準備

本体両側面のツメ（4ヶ所）をはずして、本体カバーを本体からはずす。

お願い

- 本体カバーをはずした後モーターが露出しますので、モーターに衝撃が加わらない様に注意してください。
- 給気ガイドは試運転の時まで使用しませんので、梱包状態で保管してください。

〈接続パイプ別準備〉

接続パイプは塩化ビニル管の薄肉（VU）管（内径107mm）、厚肉（VP）管・鋼板管（内径100mm）またはこれに相当する内径のパイプを用意してください。

お願い

- アルミフレキシブルダクトは堅固な取付けができないため使用できません。

VP管・鋼板管の場合（内径100mmのもの）

そのまま挿入する。

VU管の場合（内径107mmのもの）

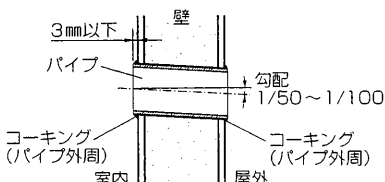
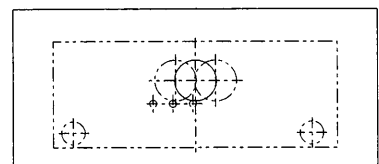
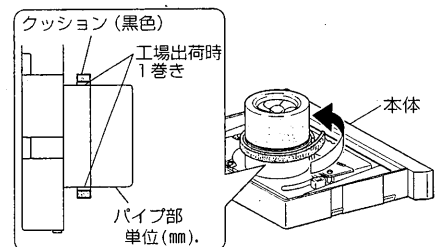
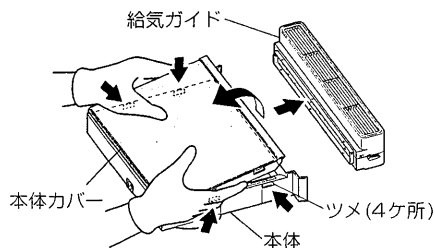
本体パイプ部クッションに付属のクッションをかさねて巻き付ける。（クッションは本体パイプ部上面で貼り合わせてください。）

お願い

- クッションの貼付けを確実にに行わないと、パイプと本体のすき間から雨水等が浸入して壁を汚すことがあります。

〈取付穴の準備〉

1. 付属の型紙を使用して、取付に必要な穴をあける。
 - 必ず床面より1800～2500mmの壁面に取付けてください。
 - 穴あけの手順は型紙を参照ください。
2. 屋外に取付けるシステム部材（フードなど）のパイプ接続部と本体が当たらないようにパイプの長さを決める。
 - パイプの長さは「システム部材のパイプ接続部長さ+67mm以上」に切断してください。
〔参考：P-13VS₂の場合、パイプ接続部（53mm）+本体埋込寸法（65mm）+クリアランス（2mm）=必要壁厚（120mm以上）〕
 - パイプが室内側壁面からでる寸法は3mm以下としてください。
3. 電源コードを室内に引き込んでから（電気工事参照）壁穴にパイプを差し込みコーキングして確実に固定する。
 - 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
 - 屋外側に下り勾配をつけ固定してください。



※本製品は壁取付け専用です。

電気工事

■専門の電気工事店さまへ依頼し、電気設備技術基準に基づいて行ってください。

1. 電源コードを図のように室内に引き込む。
 - 電源コードはVVFφ1.6、2芯をご使用ください。
2. 電源コード先端を図のように皮むきする。
 - 速結端子カバーにあるストリップゲージに合わせて皮むきすると便利です。
3. 電源コードを速結端子に接続する。
 - 電源コードカバーをはずし、速結端子に電源コードを差し込み、速結端子レバーをたおして、接続してください。
 - 電源コードをはさまない様電源コードカバーを取付けてください。

お願い

- 電源コードの皮むき部分は、確実に速結端子に差し込み、端子より出ないようにしてください。
- 電源コードが速結端子に確実に固定されているか、軽く引っ張り確認してください。

本体の取付け

1. 本体の上下を確認してパイプに差し込み付属の木ネジ（2本）で本体を壁面に固定する。

お願い

- 取付けの際は、本体の開口部周辺を押してパイプに差し込んでください。モーター部を押す（たたく）と異常音の原因になります。
- 余分な電源コードは壁内に押し込んでください。
- 電源コードは、本体裏面に密着させて配線してください。
- 本体は水平に取付けてください。
- オリフィスは外さないでください。

2. 本体下の角穴（3か所）に本体カバーの引掛部をはめ込み上側を押さえて固定する。

お願い

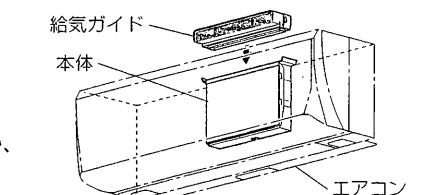
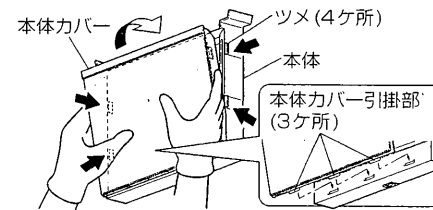
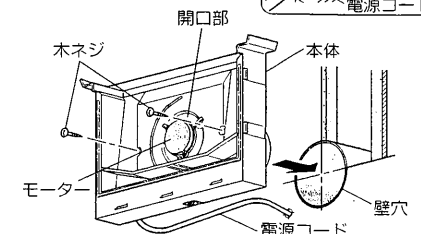
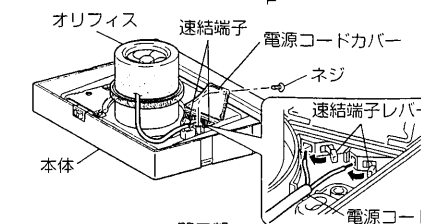
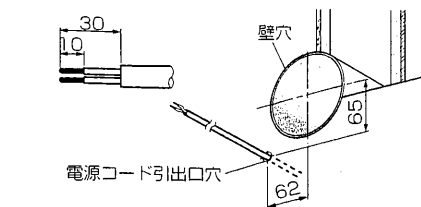
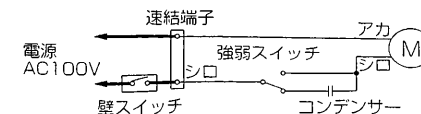
- 本体両側面のツメ（4か所）が掛かっていることを確認してください。
3. 専用据付部材キット（MAC-380KR）およびエアコンの据付工事説明書に従い、エアコンを取付ける。

試運転

本体の取付けが終了したら試運転を行い、正常に動作するか、異常な音・振動などがいないか確認してください。

1. 電源を入れる。（分電盤のブレーカーを入れる）
2. シャッター動作を確認する。（給気ガイドのシャッター開閉つまみを操作して「開」の位置にする）
3. 各スイッチを押して運転操作をする。（電源（壁）スイッチで入・切、強弱スイッチでノッチを切り換える）
4. 試運転が終了したら電源（壁）スイッチを「切」にしてシャッターを「閉」の位置にする。
（お客さまがお使いになるまで製品内にほこり等が入らないようにする）

結線図……太線部分を結線してください。



三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話 0573-66-2111

この説明書は再生紙を使用しています。